確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価書】

堺市立新金岡小学校
校長 浅野 隆史

中学校区におけるめざす子ども像
「主体的に、学び続ける子」 社会に出ていくのに必要な力をつけるために学び続ける子の育成をめざす

令和5年度 学校教育目標 「心豊かで、主体的に学び、たくましく生きる力を身につけた子どもの育成」
令和5年度 重点目標
①「総合的な学力」の育成 ②「グローバルに、超スマート社会（Society5.0）で活躍できる力」
③「豊かな心」と「健やかな体」の育成 ④特別支援教育の推進 ⑤「つながる教育」の推進
⑥学校マネジメント力の向上 ⑦信頼できる教員の育成 ⑧笑顔あふれる学びの場づくり ⑨子どもの安全確保

「確かな学び」の現状
・ 「知識及び技能」に関しては、基本的な生活習慣や家庭学習習慣において課題がみられる。また、学年によっては情報収集・整理分析力に課題がみられる。
・ 「思考力・判断力・表現力」に関しては、知的好奇心や家庭学習習慣・まとめ表現力に課題がみられる。
・ 「学びに向かう力・人間性等」に関しては、学習継続力や自己成長力については良好である。一方、メディア体験や積極的体験・ねばり強さ・学習計画力には課題がみられる。

「豊かな心・健やかな体」の現状
・ 昨年度は生徒指導事象が多発した。いじめ対策委員会をその都度開催するなど、丁寧な対応をおこないいじめの未然防止や問題事象に関する早期発見・早期対応を行った。また、豊かな人権感覚と特別の教科道徳を要とした道徳教育の推進に務めている。
・ 新体力テストでは、立ち幅跳びやソフトボール投げなどは全国平均と同等もしくは上回っている。他の種目に関しては課題がみられる。持久走と縄跳びを中心に総合的な体力向上にめざして取りくみを行っている。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～11月)	達成状況(年度末)		
								自己評価	学校関係者評価	
確かな学び	授業改善	様々な対話や関わり合いを通して学びを深める子どもを育成する	●子どもたちが主体的に学びを進めることをめざして授業改善に取組む。	「授業中、友達とともに学び合うことは楽しい」という項目で、肯定的評価が90%以上。	学校教育アンケート	年度末	○	・判断基準「授業中、友達とともに学び合うことは楽しい」という項目で、肯定的評価が96%。	◎	概ね良好
			地域や学校の特徴をいかした探究的な学習活動に取組む。	子どもたちが探究活動で得られた内容を、発表する機会を設ける	実践報告	年度末	○	・校区探検や地域のゲストティーチャーによる出前授業など、総合的な学習を中心に取組みを進めている。	◎	
			ICTを活用した授業改善および情報活用能力の育成を図る。	「パソコンを使った学習はわかりやすく楽しい」の項目で、肯定的評価が85%以上。	学校教育アンケート	年度末	○	・系統表を作成し、低学年から積極的に活用できるように進めている。	◎	
	学習習慣	自主・自律的に学ぶ力を育成する	学力向上に向けて、学習過程がわかるノートづくりに取り組む。	「ノートに自分の考えや思いを書いている」の項目で、肯定的評価が85%以上。	学校教育アンケート	年度末	○	・全校児童が見られるところに模範的なノートを掲示したり、各教科で自分の考えを書く時間を確保したりしている。	◎	概ね良好
「家庭学習の手引き」等を基に、自主学習ノートの充実など家庭学習習慣の定着に取り組む。★			「家庭学習をがんばってやっている」の項目で、肯定的評価が90%以上。	学校教育アンケート	年度末	○	・他学年の自主学習ノートを見合うなど子どもたちの意欲を高めながら、自分に合った方法や量で取り組んでいる。	◎		
豊かな心・健やかな体	心の教育の充実	人権尊重を基盤とした教育を充実させ、豊かな人権感覚と道徳性の育成を図る	児童が自己を見つめ、「考え、議論する道徳」に向けた指導・評価を行い、計画的・継続的に道徳教育の充実に取り組む。	「自分は、道徳の時間などで、友だちへの思いやりなどについて学んでいる。」項目で、肯定的評価が90%以上。	学校教育アンケート	年度末	○	・研究授業や学年間での交換授業、子どもたちが考え話し合う場を積極的に設定するなど、道徳教育の充実を図っている。	◎	概ね良好
			●「学校いじめ防止等対策委員会」を中核とした組織的に対応できる生徒指導体制の確立	「先生は、いじめなど困っていることがなくなるよう取り組んでくれる」の項目で、肯定的評価が95%以上。	学校教育アンケート	年度末	○	・いじめなどのトラブルについて、随時学年で共有、生徒指導主任を中心に対策委員会で組織的に、早期発見・早期対応をしている。	◎	
			児童会活動やなかよし交流会、学級活動を充実させ、自他の良さを認め合える集団づくりを進め、人間関係力の育成に取り組む。	「児童会活動・なかよし交流会が楽しい」の項目で、肯定的評価が90%以上。	学校教育アンケート	年度末	○	・児童会活動やなかよし交流会を通して、他学年交流を深め、子どもたちが楽しめる活動を進めている。	◎	
	健やかな体の育成	運動に親しむ環境を整え、体力の向上と健康の維持を図る	全教職員、子ども自身による体力向上や運動・スポーツに対する意識の高揚を図り、計画的な取組みを行う。	「かけ足やなわとびなどに、かんばんで取り組んでいる」の項目で、肯定的評価が90%以上。	学校教育アンケート	年度末	○	・「かけ足記録会」に向けて、子どもたちが目標をもって取り組めるように、計画的に進めている。	◎	「がんに関する教育」について、専門講師のお話だけでは子どもに難しいと思うので、わかりやすい言葉に置き換えて子どもにわかりやすいようにしてあげてください。
			「食に関する指導の全体計画」に基づき、学校の教育活動全体を通じて食育の推進を図る。	「毎朝、朝ごはんを食べている」の項目で、肯定的評価が90%以上。	学校教育アンケート	年度末	○	・栄養教諭を中心に各学年で食育授業を行ったり、育てた野菜を学校給食の食材にしたりなど、食育の推進を図っている。	◎	
			がんに関する教育を実施(6年)し、がん予防の啓発や望ましい生活習慣を身に付けさせる。	指導後のアンケートに対して肯定的意見が90%以上。	実績データ	年度末	△	・講師を招いて「がんに関する教育」を1月に実施予定で準備を進めている。	◎	
(安全・安心)	子どもの安全確保	登下校時における交通安全や防犯対策の徹底と、緊急時における小中連携、感染症対策の徹底を図る	地域人材を活用し、地域とともに子どもを育て、歩道学校づくりに取り組む。	「地域の方が登下校の安全を見守ってくれていることに感謝している」の項目で、肯定的評価が96%以上。	学校教育アンケート	年度末	○	・判断基準「地域の方が登下校の安全を見守ってくれていることに感謝している」の項目で、肯定的評価が98%。	◎	概ね良好
			●新型コロナウイルス感染症に関する対応マニュアルを踏まえた感染症対策を徹底する。	地域の感染状況を踏まえ、可能な限り授業や各種行事を継続し実施する。	実践報告	年度末	○	・「かるがも隊感謝の集い」では3年生がお礼の手紙を書いた。1月実施予定の「しんかなお礼の会」では、全校児童で感謝を伝える計画で準備を進めている。 ・新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことにより、予定していた学校行事は必要な感染対策を講じて実施できている。	◎	

校長より(年度末) 児童が友だちとの学びあいに意義を感じることができているのはとても良い傾向である。今後も探究活動等に注力していきたい。ICTの活用も積極的に進められており、子どもたちもパソコンを使った学習がわかりやすく楽しいと感じることができている。家庭学習については頑張っている児童が多い一方で、自主的に取り組みたくなるような工夫が必要である。「考え、議論する道徳」については、さらに進めていきたい。いじめ対策委員会を中核としたいじめ事象の早期発見・早期相談・組織的対応を今後も継続する。体力向上に関しては継続的に取り組むことができるよう工夫をしていきたい。

学校関係者評価者から(年度末)
先生方の取り組み、評価致します。
来年度も子どもたちにとって楽しい学校となるようよろしくお願ひ致します。